



令和3年度 苫小牧市立泉野小学校 グランドデザイン

【北海道教育推進計画基本理念】

【自立】自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む。
 【共生】ふるさとへの誇りと愛着をもち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む。

【苫小牧市教育大綱】 『未来の社会をつくるひとづくり』

① ニーズに応じた確かな学力 ② 豊かな人間性と健康な体 ③ 信頼される学校づくり
 ④ 家庭・地域で子どもを育てる環境作り ⑤ 郷土のよさを生かした潤いある生涯学習

学校教育目標
 (知) よく考え、学ぶ子
 (情) 明るく、思いやりのある子
 (意) 正しいことを進んでする子
 (体) 健康で、がまん強い子ども

【目指す子ども像】
自らすすんで学ぶことができる子 **自他のよさを認め合い、高め合える子**
明るく元気に気持ちのよいあいさつができる子
落ち着いた学びの環境づくりに心がける子 **最後まであきらめずにやりきる子**

目指す学校像
 子どもにとって、子ども自身が学びたいと思う楽しい学校
 保護者にとって、保護者が学ばせたいと信頼できる学校
 地域にとって、おらがまちの誇りとして、支援したくなる学校
 職員にとって、豊かな発想を生かし、働きがいのある学校

- 基礎基本を大事にした授業展開
- 「**練り合い**」を核とした言語活動の充実
- 議論する力、プレゼン力を高める ICT 活用
- GS構想「**STEP1**」内容の活用推進
- 学びのプラン**に基づく学習展開
- 算数科習熟度別指導（+T T 指導）
- 教科担任制導入**に向けた体制整備

- 泉野 Style** の徹底 ○教室環境の整備
- 「**家庭学習の手引き**」の効果的活用
- 家庭学習取組強調週間の設定
- 語彙力 up**を図るための読書啓発活動

- 校内支援委員会を核とした支援体制整備
- 個別の支援計画・指導計画の活用
- 障がい種別の**適切な教育課程・支援 G 編成**
- 特別な配慮を要する児童への支援の充実

- 中学校区教育力向上 P による取組推進
- 中学校教員による出前授業の継続・拡大
- 中学校の**学びの見える化**
- 小1 プロブレム解消に向けた幼・保との連携強化

- 学校支援ボランティア本部会議を核とした地域情報と児童情報の共有
- CS 化を視野に入れた関係者評価の充実
- 来校機会の設定～行事、参観日等の PR
- 地域人材・素材の掘り起こしと活用



児童に育みたい資質・能力

- ① **各教科の基礎となり、活用できる知識・技能**（知識・技能）
- ② **自分の考えや思いを相手にわかるように伝える力**（思考力・判断力・表現力）
- ③ **他者の考えを受容し、練り合い、新たな考えを生み出す力**（思考力・判断力・表現力）
- ④ **学びの見通しをもち、課題に粘り強く取り組む力**（学びに向かう力・人間性）
- ⑤ **仲間と協力し、共に学び合える力**（学びに向かう力・人間性）



- 道徳授業の改善及び質的向上**
- 全教育活動を通じて行う道徳教育の充実**
- “心の授業”の全学年実施（外部講師招聘）
- 泉野スタンダードのあいさつ**の浸透、深化
- 悪いことは悪い、と言える学校風土の醸成
- 望ましいメディアマナーと利用習慣形成**

- 自主性、創意工夫に満ちた取組を生む児童会運営
- 達成感・成就感を味わい、感動を生む学校行事の取組実践
- “**その道のプロ**”に**学ぶ場**の設定

- 体育行事を核とした体力向上強化習慣
- 生活リズムチェックの実施による生活習慣改善と定着
- 横断的計画立案による防災教育の推進
- いじめ根絶・未然防止に向けた組織的取組

- 学校評価アンケートの複数回実施
- “**資質・能力**”に基づく評価項目の見直し
- 目安箱（保護者の声 BOX）**の実施
- 教育懇談日の設定 & 日常的傾聴

- 学校要覧の継続作成（方針等の周知）
- 情報発信機能の充実（HP、メール、通信）
- 親子で学ぶ機会の充実（メディア利用）**

学習意欲の向上と確かな学力の定着
 ・「**学び泉野ブランド**」確立
 ・学校“**まるごと学びの空間**”化
 ・個の実態や特性に応じた指導、支援の充実

児童

豊かな心と健やかな身体の育成
 ・「**特別の教科 道徳**」の授業の質的向上
 ・創意工夫ある児童会活動、体験活動の充実
 ・年間を通じた体力向上策の推進

地域

一枚岩で

**～ファミリー泉野で
 心の学校を創ろう～
 経営の基本方針**

保護者

教育活動の質を高め、充実化を図る連携強化
 ・**学びの連続性を踏まえた教育の推進**
 ・家庭、地域との協働による教育活動の推進

教職員

共通理解と同一歩調を基盤とした教職員集団の形成
 ・学校教育目標の具現化に向けた経営方針の浸透
 ・魅力あふれる、教育のプロたる教師集団づくり

信頼される学校づくり
 ・“**F 泉野の基盤となるネットワーク**”づくり
 ・参画意識を高める評価システムの確立

- 分掌における業務 G と副部長**の設置
- 学校改善 P、**分掌評価**による検証改善
- 特別委員会の機能**
- 戦略会議の機能化（クロス連携）**

- 「**報・連・相**」の徹底
- 教職員の同僚性の向上
- 児童の範となる行動実践**

- 校内・外研修の充実、「**トリビアの泉**」の充実
- コンプライアンス保持徹底（研修機会の設定）
- 働き方改革の推進 ・**機能的組織体制の確立**
 ・**マネジメント力向上** ・**月2回の早上がり日**

- 学校要覧の継続作成（方針等の周知）
- 情報発信機能の充実（HP、メール、通信）
- 親子で学ぶ機会の充実（メディア利用）**